

行 動 計 画(例①)

顧客番号 *****

担当コーディネーター: ○○

作成日: R4.6.0

事業者 (法人名/氏名)	○○工業株式会社		法人代表者 (職・氏名)	代表取締役 ○○ ○○	
所在地	○○市○○町○○ ○丁目○番○号			連絡先	059*-**-****
業 種	金属プレス製品製造業	従業員数	15人	返済開始日	R5.6月
訪問日	6/15			売上傾向	減少

経営課題	番号	内 容
	1	コロナ禍の影響により売上高が減少、原材料価格の高騰(50%)高により、損失計上。
	2	代表者が70代と高齢であり、後継者(息子)の育成が大きな課題。

提案内容	課題番号	内 容
	1-1	診断士による経営診断の活用。
	1-2	国の事業再構築補助金の活用。補助金申請書類作成に向けて、商工会議所の支援を受ける。
	2	事業承継・引継ぎ支援センターの活用(場合によっては、プロ人材拠点の活用)。

行動計画	提案番号	内 容				
	1-1	経営改善コーディネーターによる簡易診断。必要に応じて、専門家派遣(診断士)を実施。				
		実施時期	R4.7月~8月	目標値	—	担 当
	1-2	事業再構築補助金を活用し、○○分野への参入のため新製品を開発する。補助金申請及び販路開拓にあたっては、商工会議所の支援を受ける。				
		実施時期	R4.8月~10月	目標値	新規事業展開	担 当
	2	事業承継に具体的に取り組んでいくため、事業承継・引継ぎ支援センターの診断を活用する。後継者の育成に向けた研修制度の活用、必要な場合は人材の確保を行う。				
		実施時期	相談6月、研修9月・11月	目標値	—	担 当
	1-2	1-2の進捗状況の確認(四半期)→商工会議所。 2の進捗状況の確認(四半期)→支援センター。 資金繰り表のモニタリング(毎月)→信金。 ※上記について、経営改善コーディネーターへのフィードバック。				
実施時期		9月、12月、3月	目標値	—	担 当	○○信金・支援センター

特記事項	事業再構築補助金の活用に係る資金調達について、商工会議所と金融機関との連携をサポートする。
------	---

【確認者】	
事業者 代表取締役 ○○	金融機関 ○○信用金庫○○支店 担当:○○
経営指導員 ○○商工会議所経営指導員 ○○	その他の支援機関 事業承継・引継ぎ支援センター ○○

行 動 計 画(例②)

顧客番号 *****

担当コーディネーター: ○○

作成日: R4.8.0

事業者 (法人名/氏名)	○○株式会社		法人代表者 (職・氏名)	代表取締役 ○○ ○○	
所在地	○○市○○町○○ ○丁目○番○号			連絡先	059-***-****
業 種	インターネット附随サービス業	従業員数	5人	返済開始日	R5.2月
訪問日	5/10、6/10、7/10			売上傾向	減少

経営課題	番号	内 容
	1	受注は既存顧客や紹介が中心、積極的な営業を行っていない。ホームページ作成の企画を行っているが、自社ホームページがない。
	2	現在の営業方法では、業績の回復を図ることができず、事業が破綻するおそれがある。
	3	売上の回復が見られず、据置期間終了後の返済原資の確保が困難である。

提案内容	課題番号	内 容
	1	企画力・制作スキルをPRするための、自社のホームページを作成する。
	2	継続的に取引のある顧客のニーズの洗い直し、新規顧客の開拓。
	3	金融機関や商工会による継続的な伴走支援。

行動計画	提案番号	内 容				
	1	自社ホームページの作成とビジネスサイトへの登録。				
		実施時期	R4.8月中に完成	目標値	—	担 当
	2	継続的に取引のある顧客への訪問により、ニーズを洗い直し受注につなげる。その際、当該取引先の顧客を紹介してもらうなど、新規顧客の獲得につなげるための情報収集等に努める。				
		実施時期	R4.8月～11月	目標値	受注5件	担 当
	1～3	1、2の進捗状況の確認(隔月)と返済原資の確保のモニタリング。 当該結果について、経営改善コーディネーターへのフィードバック。				
実施時期		9月、11月、1月、3月	目標値	—	担 当	○○銀行

特記事項	11月のモニタリングにおいて、取組成果が出ていない場合、専門家派遣を活用し抜本的な経営改善策の策定を検討する。
------	---

【確認者】	
事業者	代表取締役 ○○ ○○
金融機関	○○銀行○○支店 担当:○○
経営指導員	—
その他の支援機関	—